

## 市内58カ所の放射線量率一覧表(保育園・幼稚園・小中学校・高校・公園など)

毎月第2・第4火曜日と同週の木曜日に測定している市内58カ所の放射線量率について、前回との比較ができるよう掲載しています。また、除染状況や取り組み、数字の意味なども随時お知らせします。

※11月13日から、新たに二池の測定を始めました。

(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名	測定日		測定の高さ	
	10/23・25	11/13・15		
保育園	中央保育園	0.108	0.100	0.5m
	上町保育園	0.140	0.151	
	つつじが丘保育園	0.090	0.096	
	向原保育園	0.086	0.100	
	栄町保育園	0.129	0.135	
	下根保育園	0.144	0.151	
	つばめ保育園	0.113	0.110	
	つばめ保育園牛久駅前分園	0.098	0.110	
	ふたばランド保育園	0.127	0.122	
	つつじが丘ふたばランド保育園	0.096	0.092	
	牛久保育園	0.121	0.123	
	牛久ひかり保育園	0.161	0.171	
	牛久ふれあい保育園分園	0.163	0.151	
ひたち野うしく保育園つくしんぼ	0.071	0.078		
幼稚園	第二幼稚園	0.147	0.133	0.5m
	かわい幼稚園	0.156	0.151	
	牛久幼稚園	0.144	0.122	
	ひたち野牛久幼稚園	0.127	0.137	
	こばと幼稚園	0.106	0.100	
	フレンド幼稚園	0.100	0.094	
	牛久文化幼稚園	0.120	0.112	
	牛久教会こどものいえ幼稚園	0.092	0.090	
小学校	牛久小学校	0.121	0.157	0.5m
	岡田小学校	0.150	0.123	
	奥野小学校	0.140	0.133	
	牛久第二小学校	0.192	0.178	
	中根小学校・第一幼稚園	0.142	0.127	
	向台小学校・牛久ふれあい保育園	0.132	0.135	
	神谷小学校	0.122	0.114	
	ひたち野うしく小学校	0.152	0.151	

施設名	測定日		測定の高さ	
	10/23・25	11/13・15		
中学校	牛久第一中学校	0.138	0.145	1m
	牛久第二中学校	0.163	0.163	
	牛久第三中学校	0.116	0.116	
	下根中学校	0.136	0.133	
	牛久南中学校	0.135	0.139	
高校	牛久高校	0.173	0.141	1m
	東洋大学附属牛久高校	0.165	0.143	
	牛久栄進高校	0.111	0.118	
その他	こども発達支援センターのぞみ園	0.169	0.141	0.5m
	神谷小さくら台児童クラブ	0.180	0.172	
	教育センターきぼうの広場	0.177	0.174	
	すくすく広場	0.102	0.106	1m
	牛久クリーンセンター	0.165	0.200	
	牛久自然観察の森	0.184	0.165	0.5m
	二池		0.204	
公園	ひたち野みずべ公園	0.217	0.212	0.5m
	ひたち野さくら公園	0.094	0.092	
	ひたち野おやま公園	0.075	0.067	
	刈谷第1街区公園	0.151	0.139	
	本町第1街区公園	0.143	0.149	
	田宮東街区公園	0.077	0.078	
	みどり野第1街区公園	0.100	0.086	
	小坂第1街区公園	0.081	0.080	
	柏田第2街区公園	0.077	0.073	
	栄町第1街区公園	0.067	0.067	
	牛久運動公園	0.140	0.139	
	牛久運動広場	0.129	0.129	
	奥野運動広場	0.173	0.163	

※測定器:エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。  
 ※測定の高さ:小学生以下の子どもが多く利用する施設は地上0.5m、その他施設は地上1mの高さで測定しています。

### ■追加被ばく線量の低下のために…

市は「年間1ミリシーベルト以下=毎時0.23マイクロシーベルト以下」を目指します。

#### ●放射線の基礎 [第10回] 放射線の人体への影響(5) 「預託線量について」

体内に放射性物質を取り込むと、放射性物質が別の原子核に物理的に変化したり、新陳代謝などによって体の外に排出されたりして減少していきませんが、放射性物質が体内にある間は、継続して被ばくすることになります。放射性物質の物理的変化によって、量が半分になる期間を「物理学的半減期」、体の代謝機能によって量が半分になる期間を「生物学的半減期」といいます(下表参照)。体内の組織や臓器が受ける放射線の量を、直接求めることはできないため、放射性物質を1年間摂取したものと、摂取後50年間における総線量を計算し、被ばく線量とする方法が用いられます。この総線量のことを「預託線量」といいます。摂取された放射性物質の量が分からないと、預託線量も計算できないため、計測する手段として、ホールボディカウンターや他の方法で計測されています。

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
物理学的半減期	8日	2年	30年
生物学的半減期(全身)	乳児:11日 5歳児:23日 成人:80日	1歳まで:9日、9歳まで:38日、 30歳まで:70日、50歳まで:90日 (出典:農林水産省 放射性物質の基礎知識から抜粋)	

計算し、被ばく線量とする方法が用いられます。この総線量のことを「預託線量」といいます。摂取された放射性物質の量が分からないと、預託線量も計算できないため、計測する手段として、ホールボディカウンターや他の方法で計測されています。

今回は放射線の基礎「放射線防護3原則」です。

問 放射能対策室(環境政策課内) ☎内線1568、1569